



狭山丘陵の都立公園では、レンジャーが自然を守り、その素晴らしさを伝えています。

狭山丘陵で見られる夏の花



1. **アキノタムラソウ**(シソ科)
・花の時期：6～11月
・花の大きさ：約1cm

林のふちや道ばたなどで見られる。全体に毛が生えた薄紫色の花は、クキを囲うように四方に向けて咲く。



2. **ヒヨドリジョウゴ**(ナス科)
・花の時期：8～9月
・花の大きさ：約1cm

林のふちで見られる。つる性で他のものに絡みついて伸びる。そり返った花びらの付け根やおしべに模様が入る。



3. **ゲンショウコ**(フウロソウ科)
・花の時期：7～10月
・花の大きさ：1～1.5cm

林のふちや草はらなどで見られる。花には数本の模様が入る。花は西日本では赤が多く、東日本では白がよく見られる。



4. **センニンソウ**(キンポウゲ科)
・花期の時期：8～9月
・花の大きさ：2～3cm

日当たりの良い林のふちで見られる。つる性で、周りの植物にからまりながら伸びる。白い花を上向きに咲かせる。



5. **ノカンゾウ/ヤブカンゾウ**
・花の時期：7～8月 (ワスレグサ科)
・花の大きさ：約7cm/8cm

しめり気のある場所や、林のふちなどで見られる。ヤブカンゾウは八重咲で、ふちが波打つ。



6. **ミゾソバ**(タデ科)
・花の時期：7～10月
・花の大きさ：4～7mm

水辺で群生する。茎の先に小さな花をいくつも付ける。葉の形が牛の頭に見えることからウシノヒタイという別名をもつ。



7. **オカトラノオ**(サクラソウ科)
・花の時期：6～7月
・花の大きさ：約1cm

日当たりの良い林のふちで見られる。ふさ状の小さな花の集まりは、まるで動物のしっぽのよう。花は根元の方から開花する。



8. **ガガイモ**(キョウチクトウ科)
・花の時期：8～9月
・花の大きさ：約1cm

日当たりの良い林のふちで見られる。つる性で周りに絡みつきながら伸びる。薄ピンク色の花は細かな毛が生え、ふわふわした触り心地。

狭山丘陵で見られる夏の花



9.キツネノカミソリ
 ・花期：8~9月 (ヒガンバナ科)
 ・花の大きさ：約5cm

やや暗い林内で見られる。春先に伸びた葉は、花期になると枯れてなくなる。北多摩エリアでは絶滅危惧種(東京都レッドリスト2020)。



10.ウバユリ(ユリ科)
 ・花期：7~8月
 ・花の大きさ：12~17cm

うす暗い林内で群生し、茎の先にいくつかの黄緑色の花を咲かせる。花はユリ特有の甘い香りがする。



11.ヤマユリ(ユリ科)
 ・花期：7~8月
 ・花の大きさ：22~24cm

林のふちや林内で見られる。開花すると一帯が甘い匂いに包まれる。花粉は粘り気があり、花にやってくる昆虫に付いて運ばれる。



12.オオバギボウシ
 ・花期：7~8月 (キジカクシ科)
 ・花の大きさ：4.5~5cm

林内や林のふちで見られる。茎を50~100cmまで伸ばし、上部に花を次々咲かせる。それぞれの花は1日のみ咲く。



13.イチヤクソウ(ツツジ科)
 ・花期：6~7月
 ・花の大きさ：約1cm

うす暗い林内などで見られる。20cmほど茎を伸ばし、その先に白~黄緑色の花を下向きに咲かせる。葉の裏側は赤みがかったり。



14.ホタルブクロ(キキョウ科)
 ・花期：6~7月
 ・花の大きさ：4~5cm

林のふちや草地などで見られる。花の内側にはたくさんの毛が生えている。虫たちはこの毛に足をかけ、奥にある蜜を採る。





15.オトギリソウ
 ・花期：7~9月 (オトギリソウ科)
 ・花の大きさ：1.5~2.5cm

日当たりの良い林のふちなどで見られる。花には黒い半透明の模様が入る。

花と昆虫の秘“蜜”の関係

花粉を交換しあい、タネを残したい植物たち。でも自分では動けないので、よく蜜を採りに来た虫に花粉を運んでもらいます。では、虫たちはどうやって蜜のありかを知るのでしょ？実は、花の色や模様には秘密があります。虫たち(多くの爬虫類・鳥も含む)は、人には見えない『紫外線』を見ることが出来ます。一方、花は紫外線を吸収・反射することで、特別な模様を描きます。花の美しさや模様は「ここに蜜があるよ」と虫たちに教えるメッセージなのです。

紫外線で見えるクサノオウのイメージ(右)。花びらは紫外線を反射し、おしべは吸収する。